

リオン式 ★  ゾーントレード

# マシンガン ハントFX

Machinegun Hunt FX

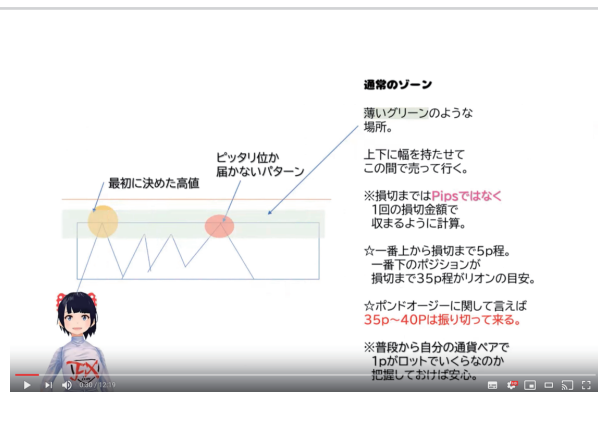
オフィシャルガイドブック



～上級編～  
ヒゲハントの極意

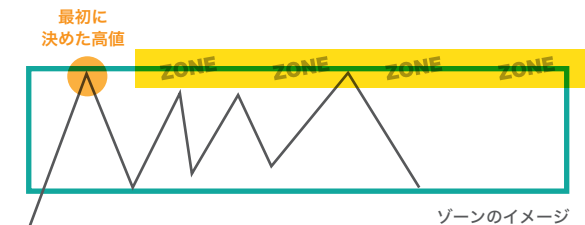
# ゾーンハンター上級編 ヒゲハントの極意

チャートに突如として現れる長いヒゲ。上でも下でも、重要なサポートレジスタンスライン近くで発生。偶然と考えるにはあまりに意図的に見える。「ダマシ」「フェイク」に負けるな！



サポートレジスタンスライン付近を  
ゾーンで捕らえる。これが通常時。

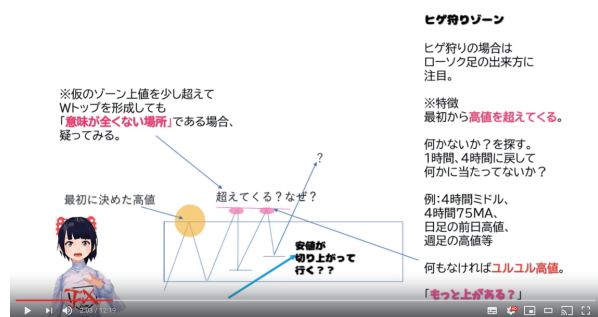
更に！ポンド系によく起きる「ヒゲ発生」も利益  
に変える！それがリオンのヒゲハント！



通常は左図のようにゾーンで捕らえて値幅の範囲内で  
エントリーしていきます。

プラス、リオンの得意技「ヒゲハント」ちょっと勇気を出して更に上から！

## ヒゲ狩り

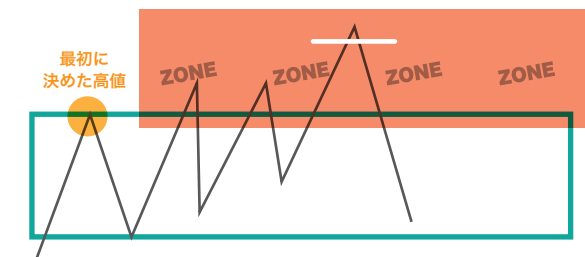


レンジ上限を上に抜けた！と思わせて  
ヒゲで戻される単なるフェイク。

その時振り落とされたら悔しい！1回損切りになっていても、もう一度見てみよう。それはヒゲで終わるのかも。だったら「フェイク」をハントしてしまおう。

上位足で見た時。重要なサポレジラインやキリ番等の「ナニカ」  
に向けてレートが動いているように見えた場合。

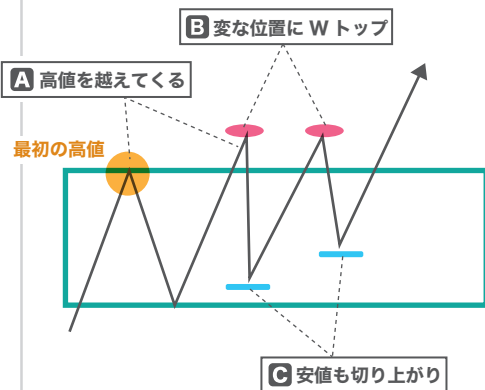
実際にナニカを抜けて上げ止まった高値を「仮の頂点」に設定。  
そこを上限に、ざっくりと「帯」で捉えた部分。



- ・最初に決めた高値を、最初からレートが越えてくる動きをしやすい。
- ・上方向に、次にレートが止まりそうな「ナニカ」が存在している。
- ・「ナニカ」に向けて指標発表等を利用して仕掛けられる場合が多く、そのタイミングを狙ったヒゲ狩りパターンも多い。

※レート近くに「ナニカ」がある

# ヒゲハントの極意実践



いつものレンジとは違うな…というちょっと怪しい動きをします。そんな動きの一例です。

## A 高値を最初から越えてくる

自分で決めた「最初の高値」を、2回目の山の時点で最初からいきなり越えてきたりします。

## B 変な位置にダブルトップ形成 (ゆるゆる高値の可能性)

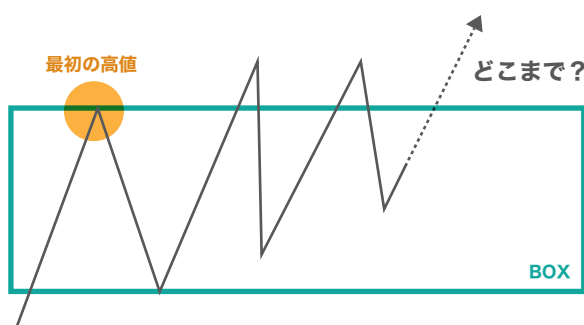
高値を越えた後、何もなさそうな位置にWトップを形成しました。上位足に切り替えて見てもMA前日高値・週足高値等の重要そうな線もありません。こんな変な場所のWトップは「ゆるゆる高値」※1の可能性が高く、まだ上がありそう…と予測できます。ここから、ヒゲ狩りを検討する段階に。

## C 安値も切り上がっていている

※1「ゆるゆる高値」：固くなく抜けやすい高値という意味で「ゆるゆる高値」。なぜこんなとこで止まる?という根拠の薄い高値です。ちなみに、薄いWボトムは「足場ゆるい」等と言われたりも。

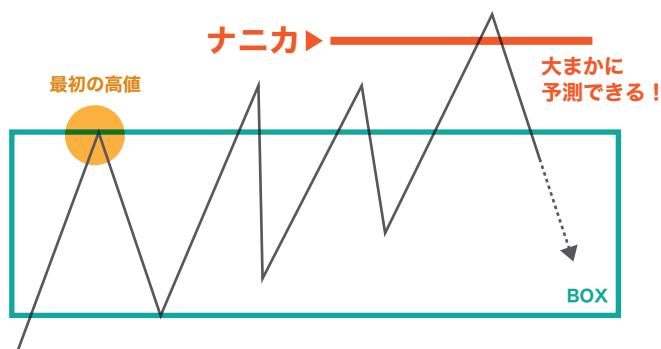
## 「ナニカ」がないか探す

通常のレンジ相場とは少し違った動きを感じ、ヒゲ狩りを検討する段階になったら。次は、ターゲットとなる「ナニカ」を探します。発見できたらいいよヒゲ狩りへ。



どこまでレートが上がるか  
ぴったり当てる事はできない

「最初の高値」と「ゆるゆる高値」をレートが越えた後。レートがどこまで上がり続けていくのかを、ぴったりと当てるのは、ほぼ不可能です。



「ナニカ」があれば  
大まかな予測はできる

ぴったり当てるのは無理ですが、今のレートの近くに「ナニカ」を見つくと、大まかな予測は可能です。

## ヒゲ狩り前にいったんリセット

もしB地点で入っていたなら、C地点の安値切り上がり付近で利確しておきます。いったんリセットしておく、と「ナニカ」を狙うヒゲ狩りハントを落ち着いて待てます。

上位足の重要なサポートレジスタンスライン等を「なんかある」と言う感じに呼んだりするので「ナニカ」と命名しています。リオンがトレードをする上で、**とても重要視しているもの**でもあります。

### ナニカの一例

- ・キリ番
- ・過去びっくりするくらい長い上ヒゲの先端
- ・4時間足ミドル / 75SMA
- ・週足の高値 / ミドル
- ・日足の前日高値 / ミドル
- ・月足の前月高値

etc...

### ※「数値はルールではない」



50pips 以内はヒゲ狩り検討。  
80~100pips で見送り等の数値について。

リオンが5分足GBPAUDでやる時のあくまでも一例の数値です。50や100pipsという数値はルールではなく、リオンが決めた自分のための基準。トレードスタイルによって数値は変わります。デモ等で実際にやってみて、自分の基準を決めるようにしましょう。

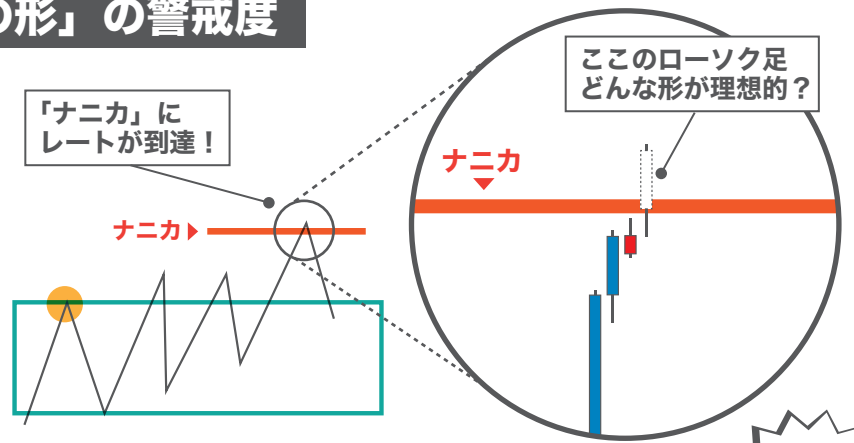
## ナニカに到達時「ローソク足の形」の警戒度

### 「ナニカ」にレートが到着後は「ローソク足の形」に注意する

「ナニカ」にレートが到達した時。

すぐエントリーした場合でも、少し様子を見る場合でも、「ローソク足のでき方」に注目します。

1本目が確定した時の「ローソク足の形」により、その後の展開の警戒度が変わります。



**要警戒!**

# 1位



**最強の形状は上ヒゲピンバー**

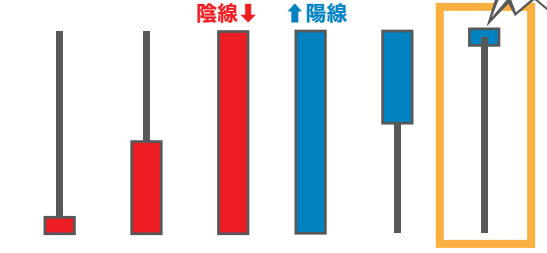
ナニカにレートが到達してヒゲ狩りする時。  
**最も信頼度のおける形**がピンバー。実体がほとんどない形状だと、なお良いです。

# 2位



**双子の坊主頭** (※ 2本目が下に大きい)

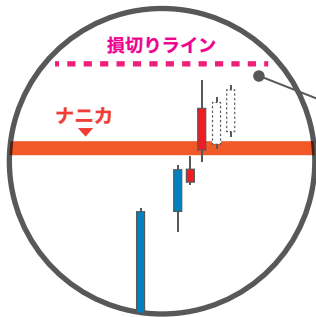
意外に強いのがこの形です。上ヒゲのない坊主頭が双子足で出現し、2本目のローソクが陰線で1本目より下に長い形をしています。



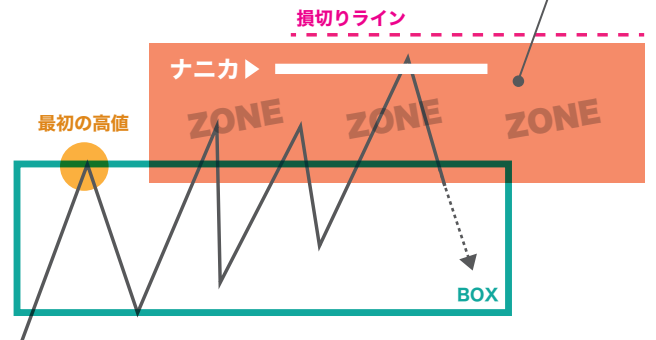
低い ← 警戒度 → 高い

その他のローソク足の形状と警戒度です。最初に紹介した左端の「上ヒゲピンバー」の形が一番安全。右端「下ヒゲ陽線の形」が出た場合は要注意で、いったん逃げておいた方が無難です。

## ヒゲ狩りする時の損切りラインとゾーン



損切りラインを上限に自分が許せる範囲でゾーン設定



### エントリー後、すぐに損切り設定

実際にエントリーした後、5分足のヒゲ高値が確定した時点で、そのヒゲ高値を「仮の頂点」に設定。(hunt4 で解説した内容) その頂点をベースに損切りラインを決めます。

### 「ヒゲ狩りゾーン」でトレードする

損切りラインの「仮の頂点」付近を上限に、自分に合った範囲を「ヒゲ狩りゾーン」と設定。ゾーンの中で、もたつく時もあるので、リオンはちょっと波打ったりしたら足していきます。例えば「大きな指標発表」等で一気にレートあがってくる場合、これは、待ち構えてないと入れません。

また、そのまま一気に落ちる事も多いので、足せない人は無理に足さなくても OK です。指標が絡むと、1本だけ入れた時点でも、すでに結構な値幅を取れる事が多いです。

### ※「損切りは必ず守る」



**「もう一段上なら止まるかも…」と持ち続けてしまうのは絶対にダメ!**

ヒゲ狩りでは、損切りラインを越え 20~30pips 先で W トップ等をつけて止まって悔しい思いはする事もあります。ただ、それ狙いで保持し続けるのは絶対 NG。一瞬で 80pips~持ってかれる事も。やりたいなら、いったん切ってリセットしてからにしましょう。